



『活きていることわざ』

船橋市議会議員

神田 廣栄 (かんだひろえい) 議会報告

【事務所】 船橋市前原西8-24-8 ☎490-3333 FAX 465-7117

Eメール hiroei@muc.biglobe.ne.jp

ホームページ <http://www.hiroei.jp>

人面獣心 (じんめんじゅうしん) 。 自縄自縛 (じじょうじばく)

【人面獣心】◇恩義や恥を知らない人のこと。

・顔は人間でも心はけだもの、の意。人面はにんめんとも読む。

【自縄自縛】◇自分自身の言動のために、自分の動きがとれなくなる、自分が苦しむ、ということ。

民主党が苦戦しています。政権の座というものについて初めて知った苦しさです。自民党の長すぎる政権の裏側にはよどんだものが幾多とあり、その批判は良かったし、反面教師として利用できたことは良かったのですが、それを改革するには民主党は成熟していなかったことが、経済や『人面獣心』の北朝鮮や中国相手の外交など様々な分野で露見しています。

当事者は真剣に考慮して決断したものと思われることが、客観的にみても誤った手段としか見えないことが多すぎました。唯一評価できるものが金権まみれの人を権力の座から遠ざけたことです。しかし、その人を評価し「お導きください」などと平気で言う幼稚な仲間(衆議院議員)がいることは非常に残念です。

翻(ひらがえ)って、船橋市幹部職員の中には、自己防衛からか、常日頃、弱者の味方を標榜(ひょうぼう=ふりがすと)している某党派からイヤガラセや厳しく糾弾されることを恐れ、条例を偏(かよ)って運用している部署があるように思われます。すべての市民が満足する施策はないと思いますが、弱い者いじめだけはやめてもらいたいものです。

そのような観点から、少し内容が専門的になりますが9月議会で質問したことに基づき掲載しました。

「市街化区域」は家やマンションを積極的に建ててもいい地域です。一方「市街化調整区域」というものがあり、主に農地が多い地域のことですが、こちらは開発して家などを建てることを抑制している地域です。



平成19年9月議会で、市街化調整区域の開発を従前よりもっと厳しくして農地を守ろうとする条例が提案され可決されました。

問題は、その委員会や本会議で、市から提出された資料に基づき審議し可決した内容と、現在運用している内容が全く違うのです。

市から提出された条例は、「市街化調整区域の土地を開発する場合は、開発する土地が接する前面の道路幅を6.5m（Aとします）に拡幅しなさい」（これは以前と同じです）。さらに「その道路（A）は別の6.5m（Bとします）に接しなければならない」と規定されました。その他にも規定が厳しくなったものもありますが今回は割愛します。

このAの6.5m道路がBの6.5m道路に接することが開発できる要件でした。それが、現在の運用は、「Bの6.5m道路は、例え何キロ先でも幹線道路という大きな道路まで続いていなければならない」という想像もしなかったことになっているのです。そんな土地はありません。もしあるとすれば、市街化調整区域を走っている幹線道路にくっついている土地しかありません。



事実上、市街化調整区域の開発はできないようにしてしまったのです。そうすることにより農地は守られるでしょうが、別な大きな問題が発生したのです。

以下、私に寄せられたある農家の悲惨な話をします。

その農家には市街化調整区域の農地しかありません。その農地を高齢の夫婦が耕作していたのですが、不幸なことに夫が病に倒れ、奥さんはその看病に追われ仕事どころではありませんし、蓄えも底をつき、病院代も払えなくなり、その日の生活にも事欠いていました。そこで、泣く泣く先祖伝来の農地を手放すことにしました。他の農家の人がその農地を買ってくれば問題がないのですが、どこの農家も高齢化し後継者不足で、他人の農地を買うどころではありません。

後継者がいないし
売るにも売れない

農地を買ってくれるのは開発業者しかいません。しかし、開発業者も開発できない土地は買いません。



開発業者というとすぐ「開発業者＝悪徳業者」と反感を持つ人が多くみられるのが残念です。議会でも「開発業者は利益を目的にしている」などと馬鹿なことを言う議員がいます。誰も利益を目的にしない事業者はいません。そこには社員もおり家族もいます。利益をあげれば税金を納めなければなりません。こんな偏った考え方の人の意見を怖がっている市職員がいっぱいいるのです。一部の幹部職員は『自縄自縛』から逃れて早く目を覚まして欲しいものです。

私は「死ぬしか方法がない」という悲惨な農家のために、この条例を間違っって運用している幹部職員と徹底的に戦います。どうか12月議会まで生きていて欲しいと願うばかりです。（本件質問の詳細は、インターネットの録画をご覧ください）

